

○福岡県

久留米市

復興支援福岡

被災状況の確認や水中ポンプを用いて床下の水抜き作業を実施した後、バキュームクリーナー・高圧洗浄機を使って床下洗浄し、送風機・サーキュレータを設置した乾燥作業を数日間かけて実施しました。久留米市社協とも連携し、他団体とも分担のうえ、被災家屋に合わせた適切な乾燥方法・消毒を実施することができました。

● 寄付者へのメッセージ ●

皆様からのご寄付により、被災された方の生活不安を解消させることができました。ご寄付がなければ十分な活動はできませんでした。心から感謝いたします。



久留米市

螢火

久留米市社協の災害ボランティアセンターと連携し、支援活動を「見える化」する活動をしました。私たちは、情報を集約し作業を振り分けること、一般ボランティアには対応できない専門的活動（床下清掃など）を担当しました。コロナ禍で自分の地域は自分で守る意識が高まっています。私たちも市民の皆さんと地域防災力を強めていきたいと考えています。

● 寄付者へのメッセージ ●

床下清掃には日数を要しますが住んでおられる方の生活スタイルを崩さないよう配慮し活動しました。皆様のご寄付あってのことです。ありがとうございました。



赤い羽根 「災害ボランティア・NPO活動 サポート募金」令和3年8月豪雨 (ボラサポ・令和3年8月豪雨) 報告

「支える人を支える」しくみ

寄付実績

「ボラサポ・令和3年8月豪雨」では、多くの企業・団体・市民の皆さまからのご協力を頂きました。多大なご協力をいただきありがとうございました。

寄付総額	13,737,003円	(*)2022年1月19日現在
助成総額	8,730,000円	
事業費	1,309,500円	
繰越額	3,697,503円	

*繰越額は、次の災害の支援に充てさせていただきます。

またボラサポでは災害発生に備えるため常時ご寄付を受付しております。引き続きご支援お願いいたします。

■ 寄付金の受入口座 ■

三井住友銀行 東京公務部 普通預金 口座番号 0162585 口座名●社会福祉法人中央共同募金会

※ 三井住友銀行 本支店間のみ送金手数料が免除となります。

※ ボラサポへの寄付金は、社会福祉法人（特定公益増進法人）への寄付金として税制上の優遇措置（所得税、法人税）の適用対象となります。

<根拠法令等> 所得税法第78条 法人税法第37条

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」令和3年8月豪雨（ボラサポ・令和3年8月豪雨）報告

発行 2022年1月

社会福祉法人 中央共同募金会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

Tel●03-3581-3846 Fax●03-3581-5755

メール●kikin@c.akaihane.or.jp

ホームページ●<https://www.akaihane.or.jp>

赤い羽根Facebook●<https://www.facebook.com/akaihane>

中央共同募金会Twitter●@akaihane_chuo

赤い羽根の
災害時支援HP



赤い羽根
Facebookページ



社会福祉法人 中央共同募金会



ボラサポ・令和3年8月豪雨とは

令和3年（2021年）8月上旬から続いた大雨により、全国各地で河川の氾濫や土砂災害等が発生し甚大な被害が発生しました。また9月5日には長野県茅野市で土石流が発生した影響で河川が氾濫し、家屋が浸水するなど甚大な被害が発生しました。この災害により被害を受けられた方々に謹んでお見舞い申し上げます。また被災された方々と被災地域の復旧を心よりお祈り申し上げます。

この豪雨災害においては8県25市町村に災害救助法が適用されるとともに、5県10市町で災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアグループやNPO等によって民家や水路の土砂の掻き出し、浸水した家屋からの家財道具の搬出や清掃など、緊急救援・復旧支援のための活動が行われました。

こうした状況を受け中央共同募金会においては「令和3年8月上旬からの大雨による災害に伴うボランティア・NPO活動サポート募金（ボラサポ・令和3年8月豪雨）」を実施し助成応募受付を行い、各地でボランティア活動を行うボランティアグループやNPO等を資金面で支援し、被災地と被災者を支える活動に助成を実施して参りました。

助成概要

8月27日から開始した第1回助成公募では、被災地域の状況や行政・関連機関等が公表するボランティア活動に対する注意喚起、意向をふまえ、当該被災県内のボランティアグループ・NPO団体等が行う活動を対象としたほか、「被災地域の社会福祉協議会等からの要請に基づいた活動であること」を条件として被災県外のボランティアグループ・NPO団体等が行う活動を対象とした募集も併せて実施し、合計24団体、総額1,157万円の応募がありました。いずれも活動日数30日以内の短期活動を対象としており、最も多かった活動内容は「被災家屋の片付け補助」で、続いて「ボランティアセンター、避難所の運営支援（設置・ニーズ調査・ボランティア受け入れ・生活環境改善）」など、発災直後の緊急支援体制の構築にかかる活動の応募が多くみられました。活動地域では佐賀県武雄市・大町町での活動を予定している団体が約半数となりましたが、福岡県や長崎県での活動を予定している団体からの応募もありました。これら応募案件について審査基準に基づき応募内容の審査を行った結果、15団体、総額484万円の助成を決定しております。

また、被災から2か月が経過した時点でもなお被災家屋の復旧などの活動が続いている状況が確認できたため、11月16日より短期活動を対象とした第2回助成公募を行い、県内・県外から合わせて12団体、総額496万円の応募がありました。最も多かった活動内容は「被災者同士のつながりの再生やコミュニティづくりのための活動」となり、復興へ向け地域コミュニティの再構築を支援するニーズがあることがうかがわれました。

応募案件については第1回と同様に審査基準に基づいて応募内容の審査を行った結果、11団体、総額389万円の助成を決定しました。被災地では今なお多くの団体が被災地と被災者を支える活動を継続しています。本助成を活用し、被災された方々と被災地域の復旧・復興の一助となることを期待しております。

■ 助成状況（全体状況）

2022年1月31日現在

	応募		助成		
	件数	助成額 (万円)	件数	助成額 (万円)	採択率 (%)
第1回 (県内団体)	7	416	7	211	100.0
第1回 (県外団体)	15	741	8	273	53.3
第2回 (県内団体)	1	17	1	16	100.0
第2回 (県外団体)	11	479	10	373	90.9
合計	34	1,653	26	873	76.5

活動事例

「ボラサポ・令和3年8月豪雨」の助成を受けて実施された活動の一部をご紹介します。

○佐賀県

武雄市

おもやい

直近2年で2回目の被災となり、住民も多くの方が大きく落ち込んでいる状況で活動開始しました。一昨年の経験から家財道具の搬出は早く進みましたが、家屋の修繕について悩んでおられる方が多くいらっしゃいました。活動を2年間継続していたおかげで地域とのつながりが出来ていたため、再建に向けた円滑な取り組みが可能となりました。

● 寄付者へのメッセージ ●

水災の不安があってもこの武雄で生活を続けるという方々が前向きに暮らせるようこれからも活動を続けます。ご寄付いただきました皆様ありがとうございます。



武雄市

みつわ

床上浸水の被害を受けた被災者が多く、キッチンが使えないご家庭が少なかったため、お弁当の配食は大変喜ばれました。配食と同時にさまざまなお話を聞くことができ、その時に出てきたお困りごとは他団体に連携して解決を図りました。お弁当をきっかけとして、今後の地域づくりにつなげていく可能性が生まれたと思います。

● 寄付者へのメッセージ ●

被災された方に栄養のあるお弁当をお届けしました。おかげで被災された方も少しずつ気持ちが前向きになってきています。本当にありがとうございました。



武雄市、大町町

災害NGO 結

武雄市のおもやいボランティアセンターと、大町町のCSO連携室の、運営・実務のサポートを実施しました。この地域は有明海の河口まで高低差が少なく満潮時にまとまった降雨があれば水害の危険性が高まるため、引き続き今後への備えが重要だと思います。今回、県内のネットワークと連携し活動できたことは今後に向けて大きな力になると思います。

● 寄付者へのメッセージ ●

被災地へのご支援をいただきましてありがとうございます。これから2度目の自宅再建となる方も多く、継続した関心を持っていただければ嬉しいです。



大町町、佐賀市

レスキューアシスト熊本

社協にボランティア依頼のあった家屋への現場調査や現状確認、被災された方への聞き取りや相談・フォロー、壁剥ぎ・床はぎ・乾燥・養生作業等を行いました。参加ボランティアのリーダー育成にも力を入れ、知識を伝える事に力を入れました。コロナ対策を徹底し、参加ボランティアの方や地域住民さんにも安心していただけるよう心がけました。

● 寄付者へのメッセージ ●

1日も早い復旧活動で、少しでも不安な気持ちをフォローできるよう心がけました。皆様のご支援により活動させて頂き誠にありがとうございました。

